

市町村名	与那国町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	地域振興対策事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	企画財政課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進	
事業内容	観光誘客を図るために、「日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会」及び「日本最西端与那国島一周マラソン大会」開催の支援を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	0	0	13,000	16,500	32,300
		(b)予算現額	0	0	13,000	16,500	25,840
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	▲6,460
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	0	0	13,000	16,500	25,840
		B.執行済額	0	0	9,980	16,500	23,609
		うち交付金充当額	0	0	7,984	16,500	18,887
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	76.8%	100.0%	91.4%
	予算の状況の説明	補助事業団体の補助金が不用となったことから、6,460千円を12月補正にて減額した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	カジキ釣り大会【7月】への補助	目 標	カジキ釣り大会開催	カジキ釣り大会開催	カジキ釣り大会開催	カジキ釣り大会開催	
		実 績	新型コロナウイルス感染症の影響より中止	規模縮小し開催	通常開催	通常開催	
	マラソン大会【11月】への補助	目 標	一周マラソン大会開催	一周マラソン大会開催	一周マラソン大会開催	一周マラソン大会開催	
		実 績	新型コロナウイルス感染症の影響より延期	新型コロナウイルス感染症の影響より延期	通常開催	通常開催	
達成 状 況 説 明	日本最西端与那国島国際カジキ釣り大会・日本最西端与那国島一周マラソン大会を通常開催した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R7年度)
	イベント開催月入域観光客数(7月)	目 標	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)	(3,000)
		実 績		3,346	3,467	3,024	
	イベント開催月入域観光客数(11月)	目 標	(3,500)	(3,500)	(3,600)	(3,600)	(3,600)
		実 績		2,504	3,952	3,408	
	進 捗 状 況 説 明	・入域観光客数については、カジキ釣り大会を開催した7月は目標を上回った。 ・入域観光客数については、マラソン大会を開催した11月はわずかに届かなかった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(カジキ釣り大会) ・好評であったサブイベントの継続だけでなく、新たなサブイベントも追加し、競技参加者以外の方も楽しむことができる大会となった。来場者には大変好評であったが、必要なスタッフ数が増え、年々職員が減少していることもあり、人員の配置に苦慮した。	(カジキ釣り大会) ・スタッフに限りがあるため、サブイベントの内容を精査し、スタッフの必要数が少なくとも大きな誘客効果のあるイベントが実施できないか検討する。
	(マラソン大会) ・公民館等施設の借用による宿泊施設の確保を行った。しかし、大型宿泊施設等、以前として休業中のため、今後も宿泊施設の確保等取組が必要である。	(マラソン大会) ・宿泊施設が不足しているため、公民館等の借用を引き続き行うとともに、新規宿泊事業者との連携等新たな受入先を引き続き模索する。
今後の取り組み方針		
(カジキ釣り大会) ・少人数のスタッフでも大きな誘客効果のあるサブイベントを実施できないか検討する。 (マラソン大会) ・公民館等の既存施設の利用交渉を引き続き行い、新規宿泊事業者との連携等、新たな受入先の可能性を引き続き模索し、宿泊施設の確保に努める。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		23,609	23,609	0
			交付金充当額	市町村負担金
			18,887	4,722
与那国町 23,609千円 補助金 23,609千円 日本最西端与那国島 国際カジキ釣り大会実行委員会 16,412千円 日本最西端与那国島 一周マラソン大会実行委員会 7,197千円 (地域振興対策事業補助金 役務費・委託費など) (地域振興対策事業補助金 役務費・委託費など)				
資金の流 れ・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明	
資金の流 れ・費 目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○カジキ釣り大会及びマラソン大会からの申請をうけ、要綱・事業内容を確認の上で補助金交付を決定しており妥当と考える。 ○不用額は5%以内であり適正であったと考える。 ○入域観光客数の増加に資する使途に真に必要なものに限定されているため、妥当であったと考える。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	与那国町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	与那国町誘客促進活性化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ	
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成30～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進	
事業内容	観光誘客を図るために、観光アピールを行い、与那国町の認知度を向上させ、受入体制を強化・周知する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a)当初予算額	7,000	7,000	16,000	17,000	17,000
		(b)予算現額	5,792	6,201	11,544	15,576	16,200
		(c)増減額(b-a)	▲1,208	▲799	▲4,456	▲1,424	▲800
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	5,792	6,201	11,544	15,576	16,200
	B.執行済額		5,792	6,201	11,544	15,576	15,621
	うち交付金充当額		4,634	4,960	9,235	12,460	12,496
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.4%
予算の状況の説明		・補助団体の事業費がが減額したことにより、12月補正にて補助金を800千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	①観光客誘致・受入体制強化	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	未実施	実施	実施	実施	
	②情報発信ツール制作	目 標	(実施)	(作成)	(作成)	(作成)	
		実 績	未実施	作成	作成	作成	
	③既存事業PR強化	目 標	(—)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	—	実施	実施	実施	
	④観光芸能イベントへの参加	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	未実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	・宿泊施設が減少し、予約が取りづらい現状の与那国において、航空会社への要望調査や与那国における観光動向調査を実施し、その結果を用いて観光商工セミナーを行った。また、各種島外イベントへの参加を通して観光客誘致を行った。 ・観光パンフレットを発行し、島内外の観光・宿泊施設に設置した。 ・各種島内イベントのPRを通して、イベント時以外の誘客を行った。 ・羽田空港にて観光・芸能フェアを開催し、与那国島の伝統芸能公演を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(R6年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R7年度)
	入域観光客 43,000人/年	目 標	(43,000)	(—)	(—)	(43,000)	(46,000)
		実 績		23,287	43,666	43,556	
	進捗状況説明	・年間の入域観光客数については、R6年度の目標値を上回った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・空港島で観光客へアンケート調査を実施したところ、個人島内消費額が時期によって差が生じていることがわかった。 ・観光事業者において、いくつか日帰りコンテンツの開発が進んだ。	・個人島内消費額を年間を通して一定の額を保つために、特産品の広告宣伝を注力する。 ・次年度において、開発された日帰りコンテンツのPRを行う。
今後の取り組み方針		
・個人島内消費額を増加させるために、与那国ブランドを向上させるよう特産品も絡めて広告宣伝を行う。 ・日帰りコンテンツのPRを行い、日帰り客の増加を図る。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>15,621</td><td>15,621</td><td>12,496</td><td>3,125</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	15,621	15,621	12,496	3,125	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
15,621	15,621	12,496	3,125	0										
与那国町 15,621千円 補助金 15,621千円 一般社団法人 与那国町観光協会 8,847千円 一般社団法人 八重山ビジターズビューロー 6,774千円 与那国町誘客促進活性化事業補助金 与那国町誘客促進活性化事業補助金														
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は本町の観光事情に精通しており妥当であったと考える。 ○不用額は5%以内であり適正であったと考える。 ○入域観光客数の増加に資する使途に真に必要なものに限られているため、妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。												

市町村名	与那国町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-③	与那国島特産品アピール力強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ		
担当部署名	企画財政課 商工・観光係	事業実施 (予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進			
					Ⅲ-1-(1)			
事業内容	与那国町の特産品の販路拡大、売上増加を目指し、特産物を活用した新商品、既存商品のリニューアル、及び県内外の物産展への出展を支援する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度()							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	8,000	8,000	8,000	12,220	12,220	
		(b) 予算現額	1,252	3,354	8,000	11,503	6,739	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 6,748	▲ 4,646	0	▲ 717	▲ 5,481	
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	1,252	3,354	8,000	11,503	6,739	
	B. 執行済額		1,252	3,354	5,734	11,503	6,189	
	うち交付金充当額		1,002	2,683	4,587	9,202	4,951	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	71.7%	100.0%	91.8%	
予算の状況の説明		執行率は91.8%であり、不用額の主な理由は商品開発支援を希望する事業者が10事業者だったが2事業者辞退したことで、それに係る予算が不用額となったもの。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	特産物を活用した新商品・メニューの開発、リ ニューアル支援	目 標	()	(-)	(-)	(5事業者)		
		実 績		-	-	8事業者		
	商談会・物産展への出展支援	目 標	(2件)	(2件)	(4件)	(5件)		
		実 績	0回	5件	11件	9件		
達成 状 況 説 明	・5事業者への商品開発・リニューアル支援を目標としていたところ、8事業者へ支援を実施し、目標を達成した。 ・5件の商談会・物産展への出展支援を目標としていたところ、9件について支援を実施し、目標を達成した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (年度)
	新商品・メニュー開発	目 標		(3件)	(3件)	()	()	
		実 績		7件				
	既存商品リニューアル	目 標		(2件)	(2件)	()	()	
		実 績		4件				
	新商品、リニューアル商品のテスト販売	目 標	()	(2件)	(2件)	()	()	
実 績			2件					

	物産展に出展する事業者(数)	目 標	()	(23事業者)	(13事業者)	()	()
		実 績		26事業者			
	進 捗 状 況 説 明	・3件の新商品・メニュー開発を目標としていたところ、民具、食品、雑貨等7件の開発に成功し、目標を達成した。 ・3件の既存商品リニューアルを目標としていたところ、パッケージ、梱包材のリニューアル等4件に成功し、目標を達成した。 ・開発した新商品・メニュー2件のテスト販売を目標としていたところ、物産展において2件を販売し、目標を達成した。 ・23事業者に対する物産展・商談会への出店支援を目標としていたところ、26事業者へ支援を行い、目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・新商品を開発するという目標を達成することはできたが、物産展におけるテスト販売等、本事業で開発した商品の自走化に向けた取組を強化していく必要がある。	・開発された商品について、物産展においてテスト販売を実施し、販路拡大への支援を行う。
今後の取り組み方針		
・個々の商品の改善点や商品開発の環境を整え、テスト販売を実施し、特産品販売拠点づくり及び販路拡大の支援を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>6,189</td><td>6,189</td><td>4,951</td><td>1,288</td><td>0</td></tr> </table> 与那国町 6,189千円 補助金 6,189千円 与那国町商工会 6,189千円 与那国町特産品強化事業補助金					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	6,189	6,189	4,951	1,288	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
6,189	6,189	4,951	1,288	0										
資金使途の流れ、点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助事業者は補助金交付要綱に基づいて選定しており、妥当であった。 ○執行率が90%以上となっているため、適正な規模であった。 ○商工事業者は補助対象経費の2割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	与那国町							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	優良繁殖雌牛導入事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア		
担当部課名	産業振興課 農林水産班	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化			
事業内容	Ⅲ-1-6							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	15,000	15,000	18,000	18,000	18,000	
		(b)予算現額	15,000	15,000	18,000	18,000	9,000	
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	9,000	
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	15,000	15,000	18,000	18,000	9,000	
	B.執行済額		11455	11023	13585	9,325	4,135	
	うち交付金充当額		9164	8818	10868	7,460	3,307	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		76.4%	73.5%	75.5%	51.8%	45.9%	
予算の状況の説明		○当初の導入予定頭数を30頭で設定したが導入申込が減少したので12月補正で15頭分の予算9,000千円を減額した。 ○不用額に関しては導入頭数が14頭で尚且つ購入価格が予定額より下がったので不用額が発生した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	優良母牛及び妊娠牛導入の支援:15頭	目標	(30頭)	(30頭)	(30頭)	(15頭)		
		実績	30頭	33頭	28頭	14頭		
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	当初優良繁殖雌牛導入を30頭で計画したが、全国的な畜産業界の経営難の影響が出て、最終的な導入は14頭に留まった。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	・導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格差の割合115%以上	目標	()	(115%以上)	(115%以上)	(115%以上)	(30頭)	
		実績		120.40%	125%	126%		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	過去の優良繁殖雌牛導入牛産仔とそれ以外母牛産仔の競り価格は1265の実績が出たので一定の成果が出たと思える。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(推進上の問題点) ・現在、畜産業界の経営状況は飼料高騰、競り価格低迷が継続中であり、母牛の処分等も発生しており、今後の子牛生産頭数の減少が故念される。その諸問題点が解消されないと導入申込の低迷が続くと推測する。 (外部環境の変化) 畜産農家を取り巻く経営環境は長らく悪い状況が継続中であるが、令和7年度に入り、子牛競り価格の上昇傾向が見受けられるのは好材料であるが、飼料価格の高止まりは未だ継続中であり、畜産業経営環境の改善にはまだ至らないのが現状である。	優良繁殖雌牛の導入は今後も推進しながら、高齢母牛の淘汰及び更新を更に推進し、導入牛産仔の競り価格上昇を目指す。
今後の取り組み方針		
優良繁殖雌牛導入事業は継続しつつ、子牛生産奨励、導入牛産仔の保留等の包括的な事業導入実施を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>8,269</td><td>4,135</td><td>3,307</td><td>828</td><td>4,134</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	8,269	4,135	3,307	828	4,134
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
8,269	4,135	3,307	828	4,134										
与那国町 4,135千円 補助金 4,135千円 JA沖縄与那国支店 4,135千円 与那国町優良遺伝繁殖雌牛導入促進事業補助金 町負担分(交付対象外経費) 5,600千円(1頭あたり1/2補助) 受益者負担分(交付対象外経費) 4,134千円														
資金使途の流れ、検証・評価項目・	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先は畜産農家団体を対象としており、妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模としては例年とおりの導入予定頭数であったが、経営環境悪化で目標頭数を達成できなかった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者は導入雌牛購入価格の50%の補助で最大60万円を補助を行うので妥当である。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○支出の費目・使途は優良雌牛導入に関する支出となっているので事業目的に沿った支出と考える。											

市町村名	与那国町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	与那国町漁業担い手育成プラン実施事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-エ	
担当部署名	産業振興課 農林水産班	事業実施(予定)年度	平成26～令和8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林漁業の担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化		
事業内容	与那国町の漁業事業者団体による漁業設備の貸付けに対して支援を行い、漁業従事者の維持確保を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	32,000	54,500	23,140	42,893	24,667
		(b)予算現額	32,000	54,500	23,140	42,893	24,637
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	-30
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	32,000	54,500	23,140	42,893	24,637
	B.執行済額		24455	49800	20230	47,725	24,637
	うち交付金充当額		19564	39841	16185	34,285	19,709
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		76.4%	91.4%	87.4%	111.3%	100.0%
予算の状況の説明		導入予定の装備品が当初参考見積より安くなったため、補助金を30千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	漁業従事者団体が、操業に必要な漁船等を新規・既存漁業者に貸し付ける場合の購入に対し支援の実施	目標	漁船の購入及び貸付の実施	漁船の購入及び貸付の実施	漁船の購入及び貸付の実施	漁船の購入及び貸付の実施	
		実績	漁船の購入及び貸付の実施	漁船の購入及び貸付の実施	漁船の購入及び貸付の実施	漁船の購入及び貸付の実施	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	漁業従事団体が貸付けのための船舶、エンジン及び装備品の購入に対し補助を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(H25年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R8年度)
	既存漁業従事者の維持確保 39人以上	目標	(32人)	(39人)	(39人)	(39人)	(40人)
		実績		39人	39人	40人	
	【参考指標】 漁業経営の安定確保	目標	()	漁業経営の維持確保	漁業経営の維持確保	漁業経営の維持確保	()
		実績		漁業経営の維持確保	漁業経営の維持確保	漁業経営の維持確保	
	進捗状況説明	令和6年度は1名の従事者の増があり年度目標を達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	年度目標を達成できた要因として、事業を通して新規で就業を希望する人たちが漁業を始めるための条件が緩和されているため就業者の維持が図れている。	今後は事業終了後も継続して漁業従事者の定着を図るために新規就業者が水産業に魅力を持ってもらえるような環境を整えていく必要がある。
今後の取り組み方針		
引き続き本事業を活用して担い手の確保を図ると同時に、収穫した水産物の加工流通の振興を推し進めるため島内消費・島外出荷の検証を別事業で取組、水産業の継続的な振興を図っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>30,796</td><td>24,637</td><td>19,709</td><td>4,928</td><td>6,159</td></tr> </table> 与那国町 24,637千円 補助金 24,637千円 与那国町漁業協同組合 24,637千円 エンジン取替及び装備品購入にかかる補助金 受益者負担分 (交付対象外経費) 6,159千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	30,796	24,637	19,709	4,928	6,159
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
30,796	24,637	19,709	4,928	6,159										
資金使途の流れ、評価・費目	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金の支出先については、漁業従事団体を対象としていることから、支出先として妥当であると考える。 ○見積等を徴収し、予算規模を決定しており妥当であったと考えている。 ○受益者負担については事業費の20%負担しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	与那国町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	官民連携・新規事業創出推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(6)-(ア)		
担当部署名	企画財政課	事業実施 (予定)年度	令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	スタートアップの促進		
事業内容	「官民一体型・新産業推進基本計画」に基づき、新たな官民一体型による施策展開を図り、より早く自立した地域経済の確立を実現させるため、官民連携における専門知識を有するアドバイザーやコンサルの力を借り、より速やかな新規事業創出を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R6年度				
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	12,001				
		(b)予算現額	12,001				
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	12,001	0	0	0	0
	B.執行済額		12001				
	うち交付金充当額		9600				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初計画に沿って予算を執行することが出来た。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R6年度				
	与那国町内外及び県内外を問わず、与那国町内における事業展開に興味があり、積極的な参画を思慮する民間企業に対してサウンディング等を実施し、実現可能性の高い新産業のあり方と推進するための枠組みを整理し、新規事業創出に取り組む。	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	当該事業の基本とした「官民一体型・新産業推進基本計画」にて、新規事業として取り組むことを前提に記載していた各分野について、与那国町内における事業展開に興味があり、積極的な参画を思慮する民間企業に対してサウンディング等を実施し、具体的な内容まで検討を実施することが出来た。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R6年度		目標値 (年度)	
	新規事業創出件数 2件以上	目 標	()	(2 件)		()	
		実 績		1件			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	
		実 績					
	進捗状況説明	新規事業創出のため、1件については、与那国町内における事業展開に興味があり、積極的な参画を思慮する民間企業に対してサウンディング等を実施し、具体的な内容まで検討を実施することが出来た。しかしながら、成果目標としていた2件目については与那国町側の情報収集や整理が完了できていなかったため、関係業者へのサウンディング調査実施まで至らなかった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	官民連携による新規事業の創出に取り組むにあたって、職員に官民連携の知識が乏しく単独では厳しいため、コンサルを活用し新規事業の創出に取り組んだが、庁内で複数の分野に跨る検討を行う体制構築が図られていなかったため、結果的にサウンディング調査に必要な情報の収集整理に時間を要する形となり、目的達成に至らなかった状況である。	委託業務を計画し、仕様書等を作成するにあたって、事前に関係する部局との横断的な連携及び情報の共有等の体制構築について検討を実施しておく必要があった。
今後の取り組み方針		
令和7年度において、官民連携による事業として新規事業をスタートさせるためにも、与那国町役場内の推進体制構築は初めに解決すべき課題であることから早急に取り組む。特に、各分野において横断的な課題となっている事項については、情報の共有と整理が必要であることから、ワーキングチーム等の枠組みを作り効率的に進められるように取り組む。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）				
与那国町 12,001千円 委託料 12,001千円 一般財団法人 沖縄新ITビジネス 創出促進協議会 12,001千円 総事業費 12,001 交付対象事業費 12,001 交付金充当額 9,600 市町村負担金 2,401 交付対象外経費 0 官民連携による 新規事業創出件数 2件以上				
資金の流 れ・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	与那国町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	家庭学習支援モデル事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-(ウ)	
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	公平な教育機会の確保と学習 環境の充実		
事業内容	町内の小中学生の学力を向上させるため、学習習慣の確立補助を目的とした町営の学習塾を運営し、地理的、経済的要因等に左右されない教育環境の整備、都市部と同程度の教育環境の実現を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	21,457	18,448	20,100	13,060	14,000
		(b) 予算現額	16,060	16,460	18,600	12,084	11,835
		(c) 増減額(b-a)	-5,397	-1,988	-1,500	-976	-2,165
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	16,060	16,460	18,600	12,084	11,835
	B. 執行済額		13550	11983	16464	11,871	11,835
	うち交付金充当額		10840	9411	13024	9,456	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		84.4%	72.8%	88.5%	98.2%	100.0%
予算の状況の説明		授業数減により2,165千円を減額した。 事業計画どおりに執行を行った。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	町営学習塾において学習指導の実施		目 標 (実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
	実 績		実施	実施	実施	実施	
達成 状況 説明	・オンライン集合授業にて、遠隔地にいる講師と与那国町を接続し学習指導を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R14年度)
	沖縄県学力到達度調査において、町と県の平均正答率の差 小学生国語: +7.5ポイント以上	目 標	(7.5)	(7.5)	(7.5)	(7.5)	(7.5)
		実 績		7.9	4.2	5	
	沖縄県学力到達度調査において、町と県の平均正答率の差 小学生算数: +9.8ポイント以上	目 標	(9.8)	(9.8)	(9.8)	(9.8)	(9.8)
		実 績		7.8	4	4	
	沖縄県学力到達度調査において、町と県の平均正答率の差 中学生数学: +2.7ポイント以上	目 標	(2.7)	(2.7)	(2.7)	(2.7)	(2.7)
		実 績		4.2	5.2	3.5	
	沖縄県学力到達度調査において、町と県の平均正答率の差 中学生英語: 0ポイント以上	目 標	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
		実 績		-0.2	1.8	4	
	進 捗 状 況 説明	・沖縄県学力到達度調査において、小学生国語で「5.0ポイント」、小学生算数は「4.0ポイント」となり、いずれも県平均には届かず、目標は未達成となった。 ・一方で中学生数学で「3.5ポイント」、中学生英語で「4.0ポイント」となり県平均の目標を達成した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・前年度と変わらず入塾率が入塾対象108名に対し、入塾者が37名と低く、町内の児童に学習習慣が定着していないことが考えられる。 ・クラス分けに関して、当初は学習進捗状況に差が見込まれなかった為、2学期頃から中学生の一部において、クラス分けを実施。沖縄県学力到達度調査にて、中学生は県平均を上回ったことからクラス分けによるきめ細やかな授業の効果が見られた。	・入塾率の向上を図るためインターネット経由の応募だけではなく、学期ごとに入塾のチラシを配る等の頻度を増やし、改めて周知を図る。 ・引き続き学習進捗状況に差があるクラスはクラス分けを実施する。
今後の取り組み方針		
・各学校の教職員と連携をとり、チラシの配布や呼びかけの頻度を増やしてもらうよう協力を図る。 ・引き続きクラスの進捗状況に応じたクラス分けを実施し、県平均の目標達成を維持・到達を目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,896</td><td>11,835</td><td>9,468</td><td>2,367</td><td>61</td></tr> </tbody> </table> 与那国町 11,835千円 委託料 11,835千円 株式会社フィオレ・コネクション 11,835千円 学習塾運営委託					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	11,896	11,835	9,468	2,367	61
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
11,896	11,835	9,468	2,367	61										
資金の流 れ・費 目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○テキスト代を自己負担としている。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	与那国町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	教育諸活動助成事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-イ	
担当部署名	与那国町教育委員会 総務課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域を知り、学びを深める環境づくり		
事業内容	Ⅲ-3-(1)						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		(b)予算現額	10,000	10,000	8,000	8,000	10,000
		(c)増減額(b-a)	4,000	5,400	8,000	8,400	10,000
		(d)繰越額	-6,000	-4,600	0	400	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	4,000	5,400	8,000	8,400	10,000
	達成状況	B.執行済額	2705	5114	5918	8,028	9,879
		うち交付金充当額	2163	4042	4735	6,422	7,903
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	67.6%	94.7%	74.0%	95.6%	98.8%
予算の状況の説明	各学校にて計画をし、感染症等の予防対策を取りながら大会・コンクール等に積極的に参加した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
	各種大会派遣の実施	目 標	(各種大会派遣の実施)	(各種大会派遣の実施)	(各種大会派遣の実施)	(各種大会派遣の実施)	
		実 績	派遣回数39回	派遣回数49回	派遣回数51回	派遣回数54回	
	各種大会派遣人数(過年度活動目標)	目 標	(530)	(500)	(500)	(500)	
		実 績	206	341	392	422	
	達成状況説明	体調不良や悪天候により大会へ参加できないこともあり目標には至らなかったが、前年度に比べ派遣人数が30名の増となり、多くの児童生徒が活躍し貴重な経験ができた。大会へ参加した児童生徒及び指導者へ補助を行い、保護者及び指導者の負担軽減になった。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	対象児童生徒の保護者へアンケートを取り、「島内ではできない経験をすることができた(80%以上)」を含め、本事業について検証する。	目 標	(80%)	(80%)	(80%)	(80%)	(80%)
		実 績		92.40%	未実施	91.40%	
	【参考指標】各種大会派遣人数	目 標	()	(500)	(500)	(500)	(500)
		実 績		341	392	422	
	進捗状況説明	・各種大会派遣人数の目標には至らなかったが、年々増加傾向である。 ・派遣に参加した児童生徒、指導者そして児童生徒の保護者に対してアンケート調査を実施し、対象者205名のうち152名の回答があった(回答率74%)。「対象児童の視野が広がったか」の質問に対し、「はい」と回答した者が91.4%おり、高評価であった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(受益者の満足度) - 多くの児童生徒が各種大会派遣に参加でき、アンケート調査での評価は高かったが、年度末に近い派遣は、予算が不足し補助することが難しい為、大会出場自体を諦めるケースもあった。そのことについては、満足に派遣に参加できなかった方々から不満の声が上がっている。 (各種大会派遣人数(年度)) - 目標に届かなかった原因として、児童生徒の体調不良や悪天候による影響が考えられる。目標には至らなかったが、年々増加傾向である。	(受益者の満足度) - 予算増減の調整が可能な時期までに、各申請団体へ派遣計画見込額等の調査を実施し、予算の見直しを行うなど引き続き効率的な補助金の活用に取り組める。 (各種大会派遣人数(年度)) - 児童生徒の体調管理について、指導者および保護者へ声掛け等を行い、また学業等に支障が出ないよう学校およびクラブ活動団体との連携を強化する。
今後の取り組み方針		
(受益者の満足度) 1年のおおよそ中間にあたる9月～10月頃に各申請団体へ派遣計画見込額等の調査を実施し、予算の見直しを行う。 (各種大会派遣人数(年度)) - 児童生徒の体調管理について指導者および保護者へ声掛け等を行い、学校およびクラブ活動団体との連携を強化する。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>9,879</td><td>9,879</td><td>7,903</td><td>1,976</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,879	9,879	7,903	1,976	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,879	9,879	7,903	1,976	0										
与那国町 9,879千円 → 補助金 9,879千円 → 町内小中学校 (5校) 9,879千円														
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○各学校から申請や交付金要綱等に基づき補助を行っており妥当である。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○航空運賃や宿泊費以外の経費については受益者が負担していることから妥当であると考える。 ○費目、用途については実績報告書で審査しており適切である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名		与那国町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-③	地域国際交流事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア		
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進		
事業内容	町内小学6年生を台湾花蓮縣にあるタバロン小学校へ派遣し、地元小学生との交流事業を行う。また、派遣前には町出身通訳による台湾・タバロンに関する事前学習とICT交流を実施。派遣後についても交流や現地での学習を継続することを目的にICT交流を実施する。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,880	2,913	2,912	5,770	9,220	
		(b)予算現額	0	0	0	5,537	7,494	
		(c)増減額(b-a)	-2,880	-2,913	-2,912	-233	-1,726	
		(d)繰越額						
	A. 計(b+d)		0	0	0	5,537	7,494	
	B. 執行済額		0	0	0	5,030	7,404	
	うち交付金充当額		0	0	0	4,024	5,923	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	90.8%	98.8%	
予算の状況の説明		・旅行業務委託に関する金額が、当初計画より変更(児童減)となったため、2179千円の減額となっている。 ・交付対象外経費(保護者負担)が627千円。委託入札残が90千円によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	・現地交流授業の実施:30名	目標	()	()	(17名)	(30名)		
		実績	未執行	未執行	17名	24名		
	・派遣前後のICT交流授業の実施	目標	()	()	(実施)	(実施)		
		実績			実施	実施		
	・報告会の実施	目標	()	()	(実施)	(実施)		
		実績			実施	実施		
	・報告書の作成	目標	()	()	(実施)	(実施)		
		実績			実施	実施		
	・全体集会や学習発表会での発表	目標	()	()	(実施)	(実施)		
		実績			実施	実施		
	・保護者向けの事後アンケート調査実施	目標	()	()	(実施)	(実施)		
		実績			実施	実施		
達成状況説明	・ホームステイ先の家庭訪問を行い、安心安全なホームステイ(2泊3日)を実施できた。 ・ICT事前(9月実施)・事後学習(1月実施)各1回を通して、国際理解教育を進めることができた。 ・ホームステイ報告会を行った。 ・報告書を作成し、姉妹都市花蓮市(タバロン小)交流を確認した。 ・各学校の学芸会でスライド作成やダンス披露等を実施した。 ・アンケートを実施し、国際理解教育の推進を確認し共有をおこなった。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(7年度)
	帰国後、児童の国際的な視野がより広まったと感じた保護者の割合(80%以上)	目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	
		実績			91%	93.8%		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
進捗状況説明	・事前学習3回、ICT事前交流、現地ホームステイを通して、台湾華語練習、郷土ダンスや歌の練習を重ねた。帰国後の休み時間や放課後、帰宅後にダンスの練習や台湾華語の練習にいそしんだ。そのために、保護者が感じた行動変容が、目標値を超える回答につながった。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・現地交流活動の中で、通訳・翻訳に加えコーディネータへの負担が大きい。 ・台湾地震の影響で、花蓮市復興郷から台北まで新幹線が徐行運転であった。そのため、帰国前日のホテル入りが夜遅く、早朝の出国手続きとフライトの関係から睡眠時間が十分に確保できなかった。	・現地活動をスムーズに行うためには、与那国町と花蓮市間の人的ネットワークを有するコーディネータが次年度も必要である。また、沖縄や与那国に造詣があり教育視点を持つ現地通訳者も不可欠である。 ・コロナ禍の影響でフライトプランが限られていた。次年度からは、那覇空港のみでなく石垣空港経由も検討し、派遣期間やプログラムの工夫が必要である。
今後の取り組み方針		
・事前学習(台湾華語や異文化)の持ち方や活動内容を改善し、国際理解教育の内容・質を担保したプログラム改善が必要となる。また、現地ガイドの活用を工夫する。 ・近くて遠い姉妹都市花蓮での国際交流(ホームステイ2泊3日)を継続するために、国内外の移動スケジュールを工夫し、体調管理を考慮した国際理解と文化理解を推進する。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>8,031</td><td>7,404</td><td>5,923</td><td>1,481</td><td>627</td></tr> </table> 与那国町 7,404千円 委託料 7,404千円 株式会社中央ツーリスト 6,489千円 ほか、保護者負担分 (交付対象外経費) to link Office 915千円 通訳・翻訳・コーディネーター 旅行業務委託					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	8,031	7,404	5,923	1,481	627
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
8,031	7,404	5,923	1,481	627										
資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明											
使途の流	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札に基づき選定を行ったため、妥当と考えられる。											
点検	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。											
費目・	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○研修や渡航費に係る経費以外は受益者負担となっており、負担関係は妥当であったと考えられる。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○精算の段階で必要資料を点検したが、費目・使途は事業目的に即しており、必要であったと認められる。											

市町村名	与那国町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-④	ジュニア海外語学研修派遣事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア	
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際感覚を身に付ける教育の推進		
					Ⅲ-3-(1)		
事業内容	町内の選抜中学生を対象として、ジュニア期の早い時期に欧米への短期ホームステイ派遣を行い、豊かな国際感覚を身につけた人材の育成を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,880	2,913	2,912	2,933	3,500
		(b)予算現額				2,933	3,500
		(c)増減額(b-a)	-2,880	-2,913	-2,912	0	0
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	0	0	0	2,933	3,500
		B.執行済額	0	0	0	2,933	3,500
		うち交付金充当額				2,346	2,800
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明	・計画通りの予算執行率100%となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	・研修への派遣:4人	目 標	(4人)	(4人)	(4人)	(4人)	
		実 績	未実施	未実施	アメリカ 4人	アメリカ 4人	
	・生徒報告書の作成	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	未実施	未実施	実施	実施	
	・報告会の実施	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	未実施	未実施	実施	実施	
	・新聞社へ感想文を寄稿	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	未実施	未実施	実施	実施	
・生徒・保護者・教諭向けの事後アンケート調査の実施	目 標	(未計画)	(未計画)	(未計画)	(実施)		
	実 績	未実施	未実施	未実施	実施		
	達成状況説明	・アメリカ合衆国のカルフォルニア州に4名の生徒を派遣(7/28～8/19)した。 ・学内報告会や事業者主催報告会(オンライン参加)で参加報告を行った。 ・参加者は、派遣目標シートや報告書を作成し活動の振り返りを行った。 ・実施内容等を取りまとめた報告書を作成し新聞投稿を行った。 ・生徒・保護者・教諭からアンケートを実施した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R7年度)
		目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)
		実 績		-	100%	100%	
	進捗状況説明	保護者へ帰国後に実施したアンケートの結果、全員が「帰国後、生徒の国際的な視野がより広まった」と回答し、目標達成となった。また役場の帰国報告会の他に、派遣生徒が自らの学校でも帰国報告会を実施し、英語学習への興味関心や意欲向上への波及を図った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・事業説明会やオンライントレーニングのみでは、参加生徒や保護者の不安などが解消されない点があった。 ・報告会の内容から自らの地域を知ろうという意識が高まっていたが、出発にあたり、文化や伝統紹介の準備不足があった。	・事業者選定時の提案内容(参集型研修や効果的研修)を確認し選定を行う。 ・派遣選考試験の面接や英作文に「日本・沖縄の文化の紹介」等を取り入れたり、事前研修会に取り入れられたりすることを検討する。
今後の取り組み方針		
・次年度以降もオリエンテーション及び説明会、事前研修会を丁寧に開催し、不安解消や現地でのギャップを可能な限り小さくする。 ・国際交流においてコミュニケーション能力を高めるために語学能力も1つの重要な要素ではあるが、それと同時に自国や地域の文化紹介が大切である。派遣者の国際理解と自国理解を高めていくことが重要な課題のため、選考方法や事前研修において課題に取り組む必要がある。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費			交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
3,500	3,500	2,800	700	0

与那国町
3,500千円

→

委託料
3,500千円

→

株式会社タイムズアドネクスト
3,500千円

〔 海外語学研修派遣委託 〕

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札に基づき選定を行った。 ○不用額がなく、適正な規模であった。 ○研修や渡航費に係る経費以外は受益者負担となっており、負担関係は妥当であったと考えられる。 ○精算の段階で必要資料を点検したが、費目・使途は事業目的に即しており、必要であったと認められる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	与那国町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑤	与那国民謡の文化継承事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-(ア)	
担当部署名	教育委員会 教育課	事業実施 (予定)年度	令和3～令和9年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及	
事業内容	与那国民謡由来の地に解説板を設置し、文化的なまちづくりに資する環境整備を図る。設置後は主に町民を対象にした民謡巡りツアーを実施し、アンケートによって民謡に対する理解度や今後の展開に対する要望を聞き取り、観光や教育に活用できる体制の強化を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	3,897			8,389	
		(b)予算現額	3,897			9,086	
		(c)増減額(b-a)	0			697	
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	3,897			9,086	
	B.執行済額		3829			8,996	
	うち交付金充当額		3063			7,196	
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		98.3%			99.0%	
予算の状況の説明		不用額90千円については、委託料の入札残、民謡巡りで運転手付き観光バスを確保できなかったこと等、実施内容の変更に伴うものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	・解説版(5点)の設置	目 標	(3点)	()	()	(5点)	
		実 績	3点			5点	
	・映像撮影の実施	目 標	()	()	()	(実施)	
		実 績				実施	
	民謡巡りツアーの実施	目 標	(実施)	()	()	(実施)	
実 績		実施			実施		
達成状況説明	・解説板設置については、5点を民謡ゆかりの地に設置した。 ・動画撮影については、選定した5点について民謡ゆかりの地で撮影し、解説板にQRコードを記載した。 ・民謡巡りツアーの実施については、業者の都合により大型バスが確保できなかったが、町所有の9人乗り乗用車2台と自家用車で参加する形式で実施し、町民多数の参加があった。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況			基準値 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R7年度)
	【民謡文化の理解度80%】 アンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目 標	(84%)			(80%)	()
		実 績				100%	
		目 標	()			()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・アンケートによる事業の検証については、民謡巡りツアー終了後(回収数47、回収率94%)に実施し、事業が民謡の理解に「とても役立った」との回答が87%、「役立った」が18%となり、設定した指標である理解度80%を上回った。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・事業期間内において設置したすべての民謡解説板を効果的に利活用するため、次年度以降に設置する解説板の選曲や設置箇所について、優先順位を決める必要がある。 ・効果的な事業展開を図るため、民謡巡り参加者等を対象に今後の要望や意見を求める必要がある。	・解説板の設置にあたっては、芸能に関わる地域の有識者や観光、教育関係者等からの意見を参考にして、選定する民謡の優先順位を検討する。 ・設置後に実施する民謡巡り参加者を対象にアンケートを実施し、地域ニーズの把握に努める。
今後の取り組み方針		
・解説板の設置は、地域住民や芸能関係者等の意見を踏まえて決定した優先順位に基づいて、速やかに整備、着手する。 ・アンケートの回答結果を次年度以降の事業計画に反映させ、民謡を活用した文化的なまちづくりを推進する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,996</td><td>8,996</td><td>7,196</td><td>1,800</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	8,996	8,996	7,196	1,800	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
8,996	8,996	7,196	1,800	0										
<pre> graph LR A[与那国町 8,996千円] --> B[委託料 8,914千円] A --> C[事務費 82千円] B --> D[映像工場 1,324千円] B --> E["(株)アートリンク 7,590千円"] D --- F[動画制作業務委託] E --- G[解説板製作設置業務委託] C --- H[報酬費、旅費] </pre>														
資金の流 使途の 流れ、 点検、 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	与那国町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	安心・安全のまちづくり支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア	
担当部署名	長寿福祉課	事業実施 (予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	子ども・子育て支援の充実		
事業内容	教育時間終了後の幼稚園児等及び小学校低学年児童の安全な居場所を確保し、子育てに関する負担軽減を図るため、指導員を配置し預かり保育を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	7,317	7,254	7,504	7,504	8,771
		(b)予算現額	4,942	7,254	7,504	7,504	9,707
		(c)増減額(b-a)	-2,375	0	0	0	936
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	4,942	7,254	7,504	7,504	9,707
	B. 執行済額		4,942	4,369	6,201	7,341	9,518
	うち交付金充当額		3,516	3,954	4,961	5,872	7,614
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	60.2%	82.6%	97.8%	98.1%
予算の状況の説明		当初予算額に対し100%に近い額で指導員3名への報酬及び手当等の執行が行われた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	・預かり保育の実施	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	指導員3名を確保し、預かり保育を実施できた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	子育てに対する負担感の軽減が感じられた (90%以上)を含め、利用児童の保護者へのア ンケートにより、本事業のあり方を検証する	目 標	()	(85%)	(90%)	(90%)	()
		実 績		94%	91%	90%	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	アンケートの結果、90%の保護者が負担感が軽減されたと回答しており、事業の効果を実感できている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・幼稚園児と小学生が同じ教室で活動することで、保護者の目的と相違している部分がある。部屋の分離は困難だが、対応を検討する必要がある。 ・指導員の確保において、保育士の資格を保有している人材確保が課題。	・受入れ学年等を検討し、よりよい預かり保育環境の構築を目指す。 ・島内の人材を最大限活用するため、島内で資格取得できる体制を構築し、人材育成事業を行う。
今後の取り組み方針		
・対象者を幼稚園児に限定し、小学生を別の事業で預かれないか検討する。 ・石垣市・竹富町・与那国町・大場学園と連携し、オンデマンド学習を活用して幼稚園免許・保育資格を取得できる体制を整えた。今後受講者を継続的に確保し、幼稚園教諭・保育資格者を確保することを推進していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9,518</td><td>9,518</td><td>7,614</td><td>1,904</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	9,518	9,518	7,614	1,904	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
9,518	9,518	7,614	1,904	0										
<pre> graph LR A[与那国町 9,518千円] --> B[報酬 6,865千円] A --> C[職員手当等 2,653千円] B --> D[子育て支援員(3名) 9,518千円] C --> D E["(学童保育に係る子育て支援指導員 (会計年度任用職員)の人件費)"] </pre>														
資金の流点、評価・費目	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学童保育に係る子育て支援指導員に対しての支出であり、妥当と考えられる。 ○支援指導員の配置人数は適正と判断している。 ○費目・使途については事業目的達成のためにも必要な経費に支出されていることから予算規模は妥当と考えられる。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	与那国町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-④	離島高校生保護者負担軽減事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-(ウ)		
担当部署名	教育委員会 総務課	事業実施 (予定)年度	令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	公平な教育機会の確保と学習 環境の充実		
	Ⅲ-3-(1)						
事業内容	島外の高等学校等へ進学する児童生徒の保護者に対して、諸行事への参加や生活のサポートのために移動する際の渡航費等を補助する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	4,625				
		(b) 予算現額	2,673				
		(c) 増減額(b-a)	-1,952				
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	2,673				
	B. 執行済額		1067				
	うち交付金充当額		853				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		39.9%				
予算の状況の説明		・当初、生徒数 × 助成回数上限の3回分で予算を確保していたが、申請状況を考慮し、1,942千円減額した。 ・不用額1,606千円は保護者の都合により学校行事に参加できず、当初想定していた渡航回数を下回ったためである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	・沖縄本島への進学 (34名予定):4,365千円	目 標	(4,365千円)	()	()	()	
		実 績	944千円				
	・石垣市への進学 (5名予定):260千円	目 標	(260千円)	()	()	()	
		実 績	123千円				
達成 状 況 説 明	実績回数が当初見込んでいた渡航回数を下回った。要因として、保護者の都合により学校行事に参加できず、当初想定していた渡航回数を下回ったためである。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	与那国島で生活しながら子育てをする意欲を高めるため、経済的負担の軽減の実感(アンケート80%以上)を目指す。	目 標	()	(80%)	()	()	()
		実 績		90%			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	対象者の満足度90%以上を達成できた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・学校行事の一部が平日に行われていることから、保護者が参加できない状況がある。また、申請が来るまで渡航回数が把握できないため、適正な事業費確保が困難である。	・申請時に今後の学校行事参加予定をヒアリングし、可能な限り最新の渡航予定数を把握する。
今後の取り組み方針		
・保護者へ学校行事への参加予定をヒアリングし、適正な事業費確保を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>1,014</td><td>1,014</td><td>811</td><td>203</td><td></td></tr> </table> 与那国町 1,067千円 補助金 1,067千円 離島高校生保護者 1,067千円 離島高校生保護者負担軽減補助金					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,014	1,014	811	203	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,014	1,014	811	203											
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○提出書類を適正に精査しており妥当であったと考えている。 ○予算規模等の算定を適正に実施し、見直す必要がある。 ○受益者である保護者には上限額以内での負担をしておりそれ以外は保護者が負担している事から判断しても妥当であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	与那国町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	少子高齢化対策事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア	
担当部署名	長寿福祉課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	子ども・子育て支援の充実		
事業内容	島内の妊産婦が良質かつ適切な医療を受ける機会を確保するため、妊産婦が島外の病院へ通院する際に必要な渡航費等の経費を補助する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,046	1,300	2,050	1,800	1,800
		(b)予算現額	1,321	1,300	2,050	1,800	1,979
		(c)増減額(b-a)	275	0	0	0	179
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	1,321	1,300	2,050	1,800	1,979
	B. 執行済額		1,220	764	1,611	673	1,592
	うち交付金充当額		976	976	1,289	538	1,273
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		92.4%	58.8%	78.6%	37.4%	80.4%
予算の状況の説明		当初の見込みより、県外受診等の増加が予想されたため、179千円増額補正した。不用額の387千円については、申請件数が想定より少なかったためである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	妊産婦定期健診の実施	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
	妊産婦一人当たりの受診回数:12回/人	目 標	(12回)	(12回)	(12回)	(12回)	
		実 績	8回	4.5回	3.2回	7.6回	
達成状況説明	・今年度については22名の対象がおり、子育て世代の負担軽減を図ることができた。 ・目標の12回には至っていないが、妊産婦の転入・転出、島内の産婦人科を受診するしないにより、回数に変動がある。今年度は島内の産婦人科を受診しないで全て島外で受診する妊婦が多数いたことで前年度と比較して回数は増えている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	島内での妊産婦定期健診等医療サービスが必要な方のうち、支援を受けて渡航した方の割合100%	目 標	()	(100%)	(100%)	(100%)	()
		実 績		100%	100%	100%	
	【参考指標】 妊産婦定期健診、渡航費の助成対象者	目 標	()	()	()	()	()
		実 績		23名	11名	22名	
	進捗状況説明	妊産婦が必要とする健診受診はできており、全妊産婦の通院における渡航費用の負担軽減になっている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	妊婦については転勤世帯の割合が増加(令和6年度については半数が転勤世帯)していること、実父母の高齢化や他のきょうだいの世話などで頼れる人がいない等、それぞれの家庭の状況があることを考慮する。	子育て世代包括支援センターと連携したり、伴走型支援等の妊娠・出産における他の事業を活用する。
今後の取り組み方針		
子育て世代包括支援センターと連携し、妊娠届出時や転入届出時の他、伴走型支援等の妊娠出産期をととした他の事業と情報共有し、事業の周知や状況把握を実施していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>1,592</td><td>1,592</td><td>1,273</td><td>319</td><td>0</td></tr> </table> 与那国町 1,592千円 補助金 1,592千円 妊産婦 1,592千円 与那国町妊産婦通院交通費助成					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	1,592	1,592	1,273	319	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
1,592	1,592	1,273	319	0										
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○妊産婦通院費助成金交付申請において、対象者を確認していることから適正と判断している。 ○妊婦の数の変動があるため、不用額が発生してしまったが、適正な規模の予算内容だと考えられる。 ○費目・用途については事業目的達成のためにも必要な経費に限定して支出している。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	与那国町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	歯科医院に係る渡航費助成事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ウ		
担当部署名	長寿福祉課	事業実施 (予定)年度	令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	保健衛生環境の向上		
事業内容	町内に唯一の歯科医院が閉鎖になり、島内で受診できなくなった。町民が県内の歯科医院通院に係る渡航費の一部助成を行うことにより、町民の健康を守る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	10,868	0	0	0	0
		(b)予算現額	5,434	0	0	0	0
		(c)増減額(b-a)	-5,434	0	0	0	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	5,434	0	0	0	0
	B. 執行済額		3,437	0	0	0	0
	うち交付金充当額		2,749	0	0	0	0
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		63.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初、補助予定件数を1,200件と想定していたが、12月補正で600件分の5,434千円を減額した。不用額1,997千円については想定より申請が少なかったためである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	歯科医院通院に係る渡航費助成の実施	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	・町民1,658人(R7年3月末現在)に対して延べ380件の補助を実施することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R6年度	R7年度	R8年度	目標値 (年度)
	歯科通院に係る経済的負担が軽減されたか (80%以上)を含め、受診者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目 標	(80%)	(80%)	()	()	()
		実 績		90%			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗 状況 説明	・負担軽減につながったとの回答が目標を超えることができた。しかし、助成回数4回を超える町民がおり、100%の負担軽減とはならなかった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・町内に歯科医院がなく、歯科を受診しない町民が一定数居たと推測されるが、事業を実施したことによって、予防も含めて受診につながっている様子である。 ・小さな子どもが受診する際に、付き添いの親の支援は実施していないため要望が上がっている。	・早期の歯科医院誘致が必要である。助成対象は保険適用のみのため、受診者に周知徹底する必要がある。 ・親も併せて受診してもらうことで、負担軽減につながると周知する。
今後の取り組み方針		
引き続き事業を実施することで、町民の負担軽減を図る。早期に歯科医院を誘致し、町内で安心安全に歯科医院を受診できる環境を整備する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,968</td><td>3,437</td><td>2,749</td><td>688</td><td>2,531</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,968	3,437	2,749	688	2,531
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,968	3,437	2,749	688	2,531										
<pre> graph LR A[与那国町 3,437千円] --> B[補助金 3,437千円] B --> C[町民 3,437千円] C --- D[与那国町歯科医院に係る渡航費助成事業] E[ほか、町民負担分(交付対象外経費) 2,531千円] --- C </pre>														
資金の流 点、検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○申請において、対象者を確認していることから適正と判断している。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○想定より申請数が少なく不用額が発生したが、適正な規模の予算内容だと考えられる。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である町民は交通費を一部負担しており、事業内容や他事業の負担割合から判断しても妥当であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については事業目的達成のためにも必要な経費に限定して支出している。											

市町村名	与那国町						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	公共交通路線支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-エ	
担当部署名	企画財政課 商工・観光係		事業実施 (予定)年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	離島を結び支える安全・安定的 でシームレスな交通体系の構築	
事業内容	地方バス運営に必要な経費を支援することにより、生活路線バスの安定的な運営を維持し、定住するために必要な条件を整備すると共に、来島者の利便性向上も図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	12,843	12,850	12,850	12,850	12,850
		(b)予算現額	12,843	12,850	9,566	12,850	12,844
		(c)増減額(b-a)	0	0	-3,284	0	-6
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	12,843	12,850	9,566	12,850	12,844
	B.執行済額		12843	12844	9290	12,843	12,774
	うち交付金充当額		10274	10274	7432	10,274	10,219
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	97.1%	99.9%	99.5%
予算の状況の説明		入札残により、予算356千円を減額した。 事業を適正に執行した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	公共交通路線バス運行費用への支援	目 標	(運行支援)	(運行支援)	(運行支援)	(運行支援)	
		実 績	運行支援	運行支援	運行支援	運行支援	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	地域住民の生活基盤や利便性向上を図り、公共交通路線バスの費用への支援を行った。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	利便性の確保が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績		89.50%	85.70%	92%	
	バス対策会議の開催	目 標	()	()	()	(1回)	()
		実 績				未実施	
	進捗状況説明	・アンケート調査を行った結果、満足していると回答が92%となった。安定的な運営を維持し、交通手段を確保することにより、交通弱者や来島者の利便性の向上となり、目標達成となった。 ・バス対策会議をアンケート調査後計画していたが、アンケート調査実施が遅かったため、未実施となった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・航空発着時間の変動により、地域間の運行がないことへの不満がある。 ・利用客数がないバス停や時刻表の表示のあり方について検討が必要である。 ・アンケート調査への取り組みが遅かった。	・住民及び来島者に見合った運行計画を作成する。 ・アンケート調査時期を早める。
今後の取り組み方針		
・バス運行の意識調査を行い、今後の運行計画の見直しを図る。 ・アンケート調査時期を早め、バス対策会議を実施する。		

資金の流れ														
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
与那国町 12,774千円 委託料 12,774千円 最西端観光 株式会社 12,774千円 （ 与那国町生活路線バスに係る委託料 ）														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>12,774</td><td>12,774</td><td>10,219</td><td>2,555</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	12,774	12,774	10,219	2,555	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
12,774	12,774	10,219	2,555	0										
資金の流 れ、費 用・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○現在、大型観光バス業務及びタクシー業務を行っている事業者が1事業者しかいないため、随意契約により委託契約を締結している。これまでの実績等も勘案した上で選定しており、妥当であると考える。 ○事業内容に見合った適正な規模であった。 ○事業達成の観点から必要なものか等について、確定時において確認し適正であったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												